

2012年度 早稲田大学 文化構想学部

日本史 解答例

I 古代・中世の書籍 <やや易>

問1 本居宣長 問2 オ 問3 日本後紀 問4 イ・オ 問5 ア

問6 小右記 問7 エ 問8 黒澤明 問9 オ 問10 小泉八雲

問5は難問。ただし、ダミーの選択肢を「あの本の説明文じゃないか？」と推測していくと、確信は持てないなかでも正解を選べたかもしれない。たとえばエは『池亭記』、オは『入唐求法巡礼行記』が推測できる。逆に、同じ正誤問題でも問2や問9は、定番の正誤問題なので正確な知識をもとに解いてほしい。問9については3月上旬の無料講座「早大日本史の検証」の講座で直接解説する。

II 米作りと水田の歴史 <標準>

問1 エ 問2 ウ 問3 環濠集落 問4 ウ 問5 屯倉 問6 イ・ウ

問7 ア・オ 問8 民部省 問9 田堵 問10 エ 問11 イ・エ 問12 オ

問2・10を難問と判定したが、どちらも常識的に考えて正解できた人も多いだろう。そうするとこの大問の難易度は「易」と言える。問4を難しいと感じた人がいるかもしれないが、『信貴山縁起絵巻』は「飛倉の巻」の図版が教科書に掲載されていることもあり、他の大学でもこうした内容から作品名が問われている。他の出題パターンもいくつかあるため、単に用語を覚えるのではなく、入試で正解するためのポイントをつかまなければならない。1995年の早稲田大学商学部では所蔵先まで出題された。朝護孫子寺である。

III 災害に関する歴史 <易>

問1 オ 問2 菅原道真 問3 エ 問4 御成敗式目 問5 立正安国論

問6 ウ 問7 土一揆 問8 ア 問9 オ 問10 オ 問11 戒厳令 問12 甘粕

東日本大震災にちなんでなのか「災害」をテーマとする問題が出題された。もともと各小問は、特別にこのテーマを深く学習していなくても解ける問題である。

IV 都市史 <やや易>

問1エ 問2検非違使 問3寝殿造 問4ア 問5イ・ウ
問6オ 問7掛屋 問8札差〔蔵宿〕 問9ウ 問10職業婦人
問11文化住宅 問12ウ

問1はウと答えてしまった人が多いだろうか。確かに東大寺は平城京の東方面に存在するが、外京をこえた位置にある。平城京の寺院は位置を覚えるべきだが、その正確さが問われた。問5・6・9を「やや難」と判定したが、問5については、消去法で解けた人も多いだろう。誤りを2つ選ばせる問題だが、それ以外の3つが正文と判別できれば正解できる。問6はエの判別が難しいが、これは山川出版の『詳説日本史』にある「町は町人の代表である名主・町年寄・月行事などを中心に、町法(町掟)にもとづいて運営された」から作った選択肢だろう。そして問9は、エの民衆の暴動が「日清戦後から」という点は疑問を持ったが、ウは高度成長期のことを言っているのではないかと判断した。東京書籍の教科書に「急速な工業化とそれとともに地域開発は、都市の過密化と農村の過疎化、公害の発生といった深刻な社会問題を表面化させた。人口の都市への集中によって、住宅難・交通難・大気汚染・水質汚濁・騒音・ごみなどの都市問題が生じた。」とあったためである。

講評

問われている用語は、受験日本史の世界では「基本」と言えるものが中心だが、正しくかつ、出題ポイントをつかんで理解していないと正解できない問題が目立つ。IVの問7・8などが良い例だろうか。日本史用語を単純暗記するだけの学習では太刀打ちできないため、たくさん問題演習が欠かせない。しかし効率の良さを求めるなら、初めから「ポイントをついた学習」をすべきなのは言うまでもない。単なる「日本史」ではなく、「難関大受験日本史」に特化した学習をお勧めする。